

# 季刊せいいてん no.128

浄土真宗聖典の学習誌

特集

詳しく学ぶ  
に が びやく どう

## 二河白道のたとえ



真宗〈悪人〉伝／善信房親鸞(二) 幸せてなんだろう／不安と倫理  
『唯信鈔文意』／救われるのは誰か 「正信偈」／法然聖人④ ほとけのいる景色／石窟の条件

NO.128

季刊

せいてん

2019.9.1(秋の号)

特集

「詳しく学ぶ 二河白道のたとえ」

- 「二河白道のたとえ」って何? .....編集室 3  
了祥さんの「二河白道図」.....沓名奈都子 4  
「二河白道のたとえ」のあらまし .....編集室 44  
絵解き「二河白道のたとえ」.....沓名奈都子×編集室 46

はじめの一步Ⅰ

真宗〈悪人〉伝⑰

- 善信房親鸞(二) .....井上見淳 9

はじめの一步Ⅱ

幸せってなんだろう—悪人正機の倫理学①

- 不安と倫理 .....藤丸智雄 16

聖典セミナー

- 『唯信鈔文意』⑦ 一救われるのは誰か .....安藤光慈 22

せいてん誌上講演

- 「正信偈」⑳ 法然聖人(4) 善悪を超えた世界 .....梯 實圓 30

ほとけのいる景色—アジャンター石窟寺院 ③

- 「石窟の条件」.....打本和音 40

せいてん書道教室 (終)

- 「応用編」.....角屋あづさ 54

法語随想 ③

- 「超日月光この身には……」.....舟川智也 56

読者のページ せいてん質問箱 **新連載**

- 「阿弥陀」の原語って、なに? .....壬生泰紀 58

人ひとみな ナモアミダブツ in カリフォルニア③

- 「メンバー中心のお寺」.....桑原浄信 63

念仏者はいま 沖縄別院総代・石川八代子さん

- 沖縄に咲いた南無阿弥陀仏の花 ..... 64

西の空 心に響くことば

- 遊煩惱林 .....榎本栄一 67

文中写真 / 編集室

お読みになる前に…文中に(〇〇頁)とあるのは『註釈版聖典(第二版)』、(七祖〇〇頁)とあるのは『註釈版聖典 七祖篇』のページ数を指しています。

# 幸せってなんだろう

—悪人正機の倫理学—

## 第11回 「不安と倫理」

ふじまる とも お  
総合研究所副所長 **藤丸 智雄**



倫理学を開いたアリストテレスは「善をなすことの究極的な目的は幸福である」みたいなことを言いました。善を行う目的となる幸福を邪魔するのが「不安」です。これがあると、なかなか幸せな気持ちになれません。ということ、今回は不安について考えてみたいと思います。

イラスト 瓜生智子



「おかえり」と「ただいま」

午後三時をまわると、甥<sup>おひ</sup>つ子三兄弟が続々と下校してきます。みんな寺中に響き渡る大声で「ただいま」と言いながら帰ってきます。元気な声を聞くと、こちらまで元気になってきます。

時々、不安そうな顔で入ってくることもあります。それは、寺の中から「おかえり」の声が無かった時です。そして、寺の中で誰かを見つけると「なんだ、おったんか」と、ほつとした顔になります。呼び声に相應る声があると安心するのです。

なぜ「不安」をテーマとするのか

なぜ、今回のテーマが「不安」なのかについてひと言。

それは、僕が不安だからです。皆さんは、いかがですか？不安ですか？僕の場合、不安から解放されている時も稀にはありますが、どちらかというところ、ずっと不安です。たまには眠れないほど不安なことだってあります。二十代の頃は、けっこう眠れない時期があり、その頃は不安や焦りから離れることができませんでした。

色んな人にも聞いてみました

僕だけ不安なのかも知れないので、会う人みんなに「不安、ありますか？」と聞いてみました。

すると、ほとんど全員、暗い顔や不機嫌そうな表情になり「あるにきまつているじゃないですか」と言いました。


二人だけ「不安？全然ないです」と答えた方がいました。二人に共通していたのは、とつても幸せそうであらかな顔。

一人は上司がいる側<sup>そば</sup>で「全然ないです」と満面の笑みで答えてくれました。上司が苦虫<sup>にがじ</sup>を噛み潰したような表情になってました。ご本人は、ちつとも気付いていませんでしたが。

「不安」は倫理と相性が悪い

「不安」には、倫理に関連する二つのポイントがあります。

一つは、倫理との相性の悪さです。倫理は、「理性」が中心的な役割を果たしています。一方、「不安」は「感情」です。「感情」に流されるのは、むしろ倫理的ではありません。つまり一つ目は、「不安」が倫理と親和



性が低いという逆説的な意味で、「不安」について倫理的に考えてみたいのです。

もう一つは、「幸福」との関係です。幸福を目的として善を行うとアリストテレスが言ったように、倫理と幸福とは密接な関係にあります。

「不安」は幸福を大きく減らします。本当に悪いことが起きたら幸福度は下がりますが、実際に不幸なことが起きるまでもなく、「悪いことが起きるのではないか」という不安な気持ちですが、私たちが不幸にします。これ程、幸せを阻害するのですから、「不安」について倫理的に考えてみたいと思うのです。

## ツイッターで「不安」を調べたら

またツイッターでも「不安」を調

べてみました。ツイッターは、わずか一四〇文字以内でつぶやくメディアです。世界で三億三〇〇〇万人、日本国内だけでも四五〇〇万人が利用しています。

ツイッターで、毎日一〇〇件ずつ、どんな不安がつぶやかれているかを調べると、まずは「不安」の多さに驚かされます。十五分〜二〇分の間に、一〇〇人が「不安です」とつぶやきます。ということは、一日七〇〇〇回くらい「不安です」とつぶやかれていることになります。一番多いのは、恋愛への不安です。

若い世代の利用者が多いためでしょう。それから仕事・健康。加えて多いのが人間関係と子育てです。

いろんな人が、ツイッターの中で不安の相談を受けています。しかし、不安への僧侶の応答は、ほぼ有りま

せん。僧侶が現代人の不安に対応できているのか、不安になりました。ところで、人は何が理由で不安になるのでしょうか。

## 安心を願われた釈尊の言葉

「あらゆる生きとし生けるものが安楽であるように、平安であるように、心から安楽であるように……かれらが、いかなる場合にも、いかなる相手に対しても、お互いに『相手が劣っている』とおとしめたり、『自分がすぐれている』と高慢になつたりしないように、かれらがお互いに他者に対して苦悩を与えようと意図して危害を加えたり。憎悪の心をもつことのないように」

これは釈尊しやくそんのお言葉です（「スッタニパータ」一四八偈）。不安がなく平

# 季刊せいいてん

## バックナンバーのご案内 (在庫分)

126号(春の号) 2019年3月1日

- はじめの一步  
真宗(悪人)伝⑤(井上見淳)  
「金子大榮(下)」
- はじめの一步II  
幸せてなんだろう⑨(藤丸智雄)  
「十方の慈悲と隣人愛」
- 聖典セミナー  
「唯信鈔文意」⑤(安藤光慈)  
「如来のはたらき」
- せいいてん誌上講演  
「正信偈」⑤(梯實圓)  
「法然聖人(2) 四十三歳の回心」
- ほとけのいる景色(新)  
「ようこそアジャンター石窟へ」(打本和音)



表紙  
●特集「信心がわからない」より



表紙  
●特集「わが家で解決 セルフ質問箱のすすめ」より

- はじめの一步  
真宗(悪人)伝①(井上見淳)「顕如と教如(下)」
- はじめの一步II  
幸せてなんだろう⑤(藤丸智雄)  
「夜空ノムコウ」
- 聖典セミナー  
「唯信鈔文意」①(安藤光慈)  
「他力信心の法義」
- せいいてん誌上講演  
「正信偈」②(梯實圓)  
「善導大師(4) 阿弥陀仏に会う」
- もう1人の親鸞⑤  
「幽霊の救い」(黒田義道)

122号(春の号) 2018年3月1日

127号(夏の号) 2019年6月1日

- はじめの一步  
真宗(悪人)伝⑥(井上見淳)  
「善信房親鸞(一)」
- はじめの一步II  
幸せてなんだろう⑩(藤丸智雄)  
「いつの間にかの倫理」
- 聖典セミナー  
「唯信鈔文意」⑥(安藤光慈)  
「誰もえらび捨てない救い」
- せいいてん誌上講演  
「正信偈」⑥(梯實圓)  
「法然聖人(3) 回心の内景」
- ほとけのいる景色②  
「千年の閻堂」(打本和音)



表紙  
●特集「ふりかえる平成の議論新説-新発見」より



表紙  
●特集「お盆、その前に」より

- はじめの一步  
真宗(悪人)伝②(井上見淳)  
「弁円」
- はじめの一步II  
幸せてなんだろう⑥(藤丸智雄)  
「欲望は悪か」
- 聖典セミナー  
「唯信鈔文意」②(安藤光慈)  
「名号の撰化」
- せいいてん誌上講演  
「正信偈」②(梯實圓)  
「源信和尚(1) 日本浄土教の黎明」
- もう1人の親鸞⑥  
「枕石の物語」(黒田義道)

123号(夏の号) 2018年6月1日

### ●これまでの主な特集記事●

- No. 100…… 100号記念 勸学向上に聞く  
①聖教の真実性と布教伝道について 梯實圓  
②聖典編纂事業と『季刊せいいてん』  
徳永一道・内藤知康・佐々木恵精
- No. 101…… ヴィジュアル大乘仏教～北伝仏教の旅～
- No. 102…… 飛雲閣と聚楽第一聚楽第の遺構が否か
- No. 121…… 自死と念仏者
- No. 122…… わが家で解決 セルフ質問箱のすすめ
- No. 123…… お盆、その前に

\*「季刊せいいてん」誌のバックナンバーは部数に限りがございますので、品切れの場合はご容赦願います。

お申し込み・お問い合わせは  
本願寺出版社

☎ 0120-464-583  
FAX 075-341-7753

〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル  
1冊 700円(税・送料込)

商品に払込取扱票を同梱しますので、郵便局もしくはコンビニエンスストアで料金を払い込みください。

◆『季刊せいいてん』バックナンバーのご案内(在庫分)



表紙  
●特集「(名人)たちの聖典」より

- はじめの一步  
真宗(悪人)伝③(井上見淳)  
「金子大榮(上)」
- はじめの一步II  
幸せてなんだろう⑦(藤丸智雄)  
「信仰という幸福について」
- 聖典セミナー  
「唯信鈔文意」③(安藤光慈)  
「(自)であらわされる他力」
- せいいてん誌上講演  
「正信偈」③(梯實圓)  
「源信和尚(2) 仏さまに背きながら」
- もう1人の親鸞⑦  
「一切経校合」(黒田義道)

124号(秋の号) 2018年9月1日



表紙  
●特集「(空)がわからない」より

- はじめの一步  
真宗(悪人)伝④(井上見淳)  
「金子大榮(中)」
- はじめの一步II  
幸せてなんだろう⑧(藤丸智雄)  
「最大多数の最大幸福(1)」
- 聖典セミナー  
「唯信鈔文意」④(安藤光慈)  
「(今)の救い」
- せいいてん誌上講演  
「正信偈」④(梯實圓)  
「法然聖人(1) 父の遺言を胸に」
- もう1人の親鸞(終)  
「親鸞聖人ご臨終の言葉」(黒田義道)

125号(冬の号) 2018年12月1日

# 季刊せいてん 定期購読のご案内

\*本誌を毎号入手していただくために定期購読をお勧めします。

●年間購読料 2,800円 (税・送料込み)

▲年4回 (3・6・9・12の各月) 発行

\*1部からでもお求めになれます。

●1部 700円 (税・送料込み)

※同じ号を一括して多部数お申し込みいただいた場合には、部数割引させていただきます。(10部以上10%・50部以上20%)

お申し込みは↓

本願寺出版社  0120-464-583 FAX 075-341-7753  
よむよ ごわさん

〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル <http://hongwanji-shuppan.com/>

## 編集後記

◆ともに連載終盤を迎えつつある「せいてん誌上講演」と「真宗〈悪人〉伝」。今号はどちらも法然聖人のお話でありつつ、それぞれ違った角度から解説がなされています。親鸞聖人が受け継がれた法然聖人の教えがどのようなものであったのかということ、浄土真宗を学ぶ上でたいへん重要なポイント。今号ではそこを、誌上講演と〈悪人〉伝によって、立体的に学んでいただけたと思います。時には両方の記事を行ったり来たりしながら、じっくりとお楽しみください。(N)

◆今号より「お寺はいま」のコーナーが「念仏者はいま」となりました。これから「親鸞聖人が大好き!」という方を順次ご紹介いたします。初回に訪ねた沖縄県の石川八代子さんは、真宗の教えに出遇って以来、聖人の古旧

跡を訪ねる旅を進めておられました。その旅ももうすぐ終盤。次は全国の法友を訪ねる旅を予定しているそうです。「まずどこへ?」と聞くと「中央仏教学院通信教育の富山支部を訪ねたい」と言われました。そこで、10年前に取材でうかがった「富山・芳樹月例会」さんの記事(88号)をお送りしました。本誌をご縁として、法友の輪が広まってほしいです。(S)

◆今回の特集の企画理由に、「二河白道のたとえ」の絵解き法話が広まってほしいとの思いがありました。教えの重要ポイントが物語の中に表現されているこの譬喩は格好の布教ツールですし、お伝えする側が学びを深めるにもとてもよい題材だからです。今回作成した「ドット絵版」もいつかご活用いただけるはずです!(D)

## 投稿募集

- ◆本誌に対するご感想やご意見、聖典講座についてのご質問など、ふるってご投稿ください。皆様からのご便りをお待ちしております。
- ◆あて先は、「〒600-8501 浄土真宗本願寺派総合研究所 季刊せいてん編集室」とご明記ください。
- ◆お送りいただきました原稿はお返しできません。◆掲載分には記念品をお送りいたします。

## 季刊せいてん

NO.128 令和元(2019)年9月1日発行

編集

浄土真宗本願寺派

総合研究所

〒600-8349

京都市下京区堺町92番地

発行

本願寺出版社

(浄土真宗本願寺派)

〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル

本願寺門前町60番地

電話 075-371-4171